

宿泊行事に向けた取組

時期	形態	主題	内容	備考
いじめ未然防止につなげるために、宿泊行事を通して、規律性や道徳性、コミュニケーション能力を育成することが期待できる				
事前	学活	〇〇へ行こう (〇〇は宿泊行事の場所)	・見通しをもつ ・ねらいや日時、行き先の確認する	児童生徒が意欲的に宿泊行事に取り組めるよう工夫する 例1：プレゼンテーション資料を作成し、視覚化する 例2：現地の写真を提示したり、実物に触れさせたりして具体的に示す
	授業1	こんなときどうするの	・場面に応じた声かけの仕方について考える ・コミュニケーションを図ることのよさについて考える (コミュニケーション能力、思いや考えの表現力)	<教師用資料1～3>を活用し、場面の登場人物のセリフについて考えさせる 教員は、宿泊施設や見学施設で児童生徒が困りそうな場面をイメージさせ、児童生徒に課題を気付かせる 教員は、児童生徒の発達の状態や程度に応じて、身体活動を取り入れたり、絵カード等を使って表現させたりする
	授業2	バスに乗ろう	・公共交通機関の乗車手順を確認する ・乗車時のマナーを動画や写真等を見て、理解する (規律性、道徳性)	乗車から降車までの一連の動きを児童生徒に確認させる 児童生徒に公共交通機関の乗車時のマナー等を理解させるだけでなく、他人に迷惑をかけた場合に謝罪すること等も理解させる
当日	宿泊行事		・これまでの授業内容を活用する	
事後	事後学習	振り返り	・宿泊行事を通して、嬉しかったことや困ったこと等を想起する	教員は、宿泊行事で起こった場面を想起させるために、写真等を用意しておく
	授業3	うまく伝える方法	・自分の気持ちや思い、考えを相手にわかりやすく表現する ・実際に遭遇した困った場面での適切な伝え方について考える (コミュニケーション能力、思いや考えの表現力)	自分の思いを伝えやすくするために、児童生徒に【授業1】を想起させる 宿泊行事で、児童生徒に困った場面を想起させ、どのように相手に伝えれば良かったかについて考えさせる 絵カードを用意したり、授業の中で言語化したりする等、児童生徒の発達の状態や程度に応じて対応する 困った場面を「劇化」することで、学習したことの般化を促す 宿泊行事の時だけでなく、日常場面でも適切な声掛けができるよう、児童生徒に促す

(授業の概要)

番号	授業名	授業の概要	主な資料等
授業1	こんなときどうするの	①自分の日常的な行動を想起する ②登場人物のセリフや気持ちを考えて話し合う ③まとめ	<教師用資料1～3> ※児童生徒の発達の状態や程度に応じて、宿泊施設や見学施設の写真を用意する
授業2	バスに乗ろう	①乗車にあたっての手順とマナーを知る ②スクールバスを用いて、乗車にあたっての手順を体験する	・バス路線図及び運賃表 ※プログラムにあるように、実際のバス乗車の様子を動画で見られるように、バス会社に許可を得て撮影する
授業3	うまく伝える方法	①宿泊行事の様々な場面を想起する ②困った場面に遭遇した時の気持ちを考えて話し合う ③まとめ	<ワークシート> ※教員は、<自立活動「うまく伝える方法」ワークシート>を宿泊行事で困った場面に変更し、児童生徒に提示する